



邦楽への招待 和の元気! 未来邦楽へ

# 全国邦楽合奏 フェスティバル

～「全国邦楽合奏協会」誕生公演～

 阿南市文化会館夢ホール 9/14.15.16

徳島県阿南市富岡町西池田 135 番地 1 TEL : 0884-21-0808

[金] [土] [日]

入場  
無料



邦楽への招待 和の元気! 未来邦楽へ

# 全国邦楽合奏 フェスティバル

★ウエルカムイベント★

## 立体ハート型花火打ち上げ

屋外

9/14

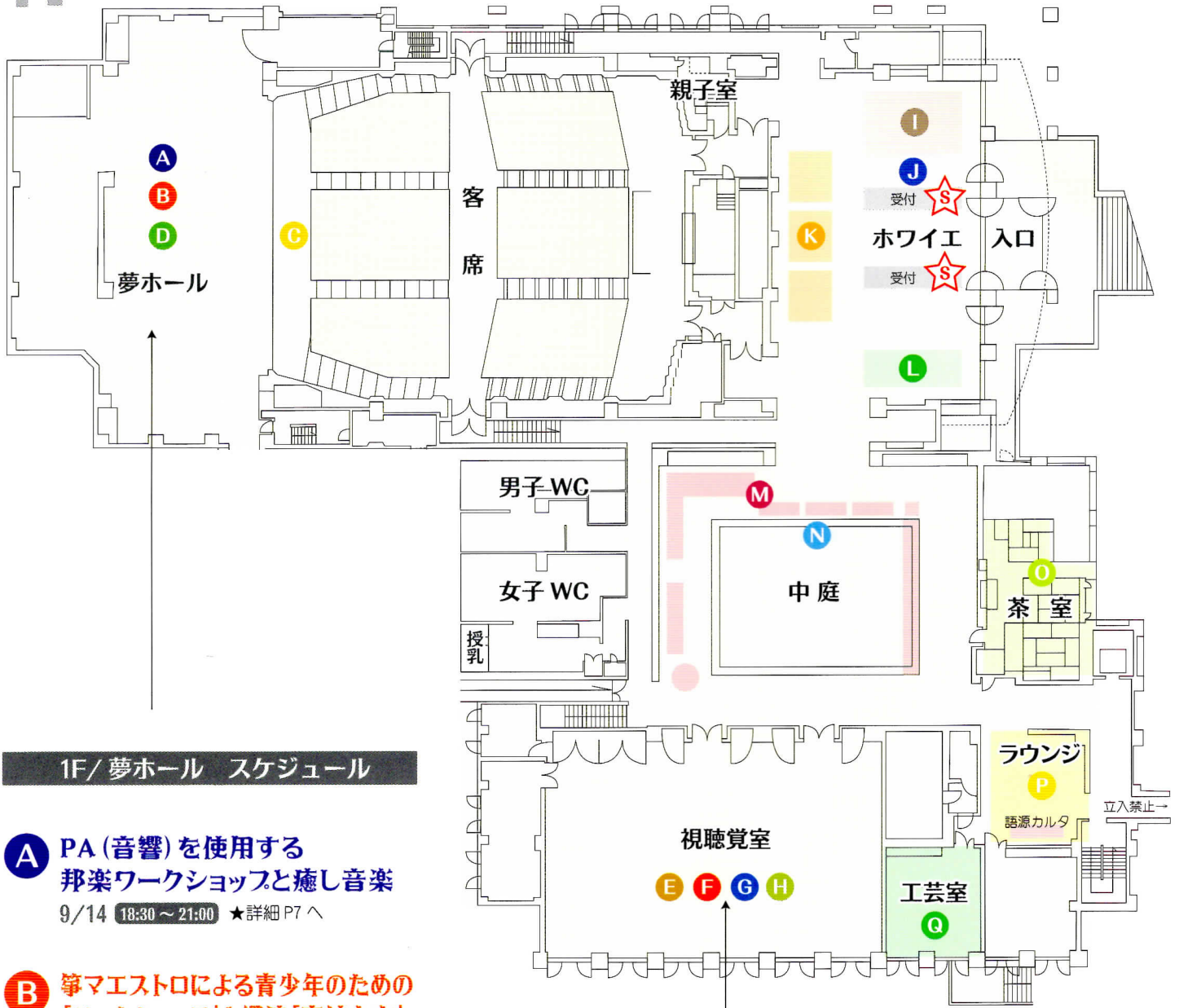
21:20頃

屋外

福島県いわき市出身、徳島を拠点に活躍中のフォークデュオ ヒルストーンLIVE 届け!心の絆



## 1F 会場 MAP



### 1F/ 夢ホール スケジュール

**A** PA (音響) を使用する  
邦楽ワークショップと癒し音楽  
9/14 18:30 ~ 21:00 ★詳細 P7 へ

**B** 箏マエストロによる青少年のための  
「ワークショップ」と響演「変絃自在」  
9/15 19:00 ~ 21:00 ★詳細 P11 へ

★ウエルカムイベント★  
**C** 達粹連による阿波踊り公演  
9/16 11:30 ~ 11:45

踊る阿呆に見る阿呆。同じ阿呆なら踊らにヤソソ  
ン♪1F ホワイエから客席へ踊り込んで参ります。  
皆さんも一緒に!

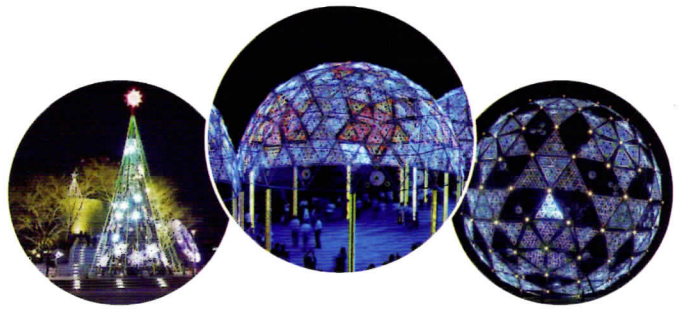
**D** 全国邦楽合奏フェスティバル  
全国邦楽合奏協会誕生公演  
9/16 11:50 ~ 18:45 ★詳細 P13 へ

**E** ミニ講演「邦楽と宇宙」  
9/15 11:00 ~ 11:20 1F / 視聴覚室 ★詳細 P8 へ

**F** 「未来邦楽へ」パネルディスカッション  
9/15 11:20 ~ 12:20 1F / 視聴覚室 ★詳細 P8 へ

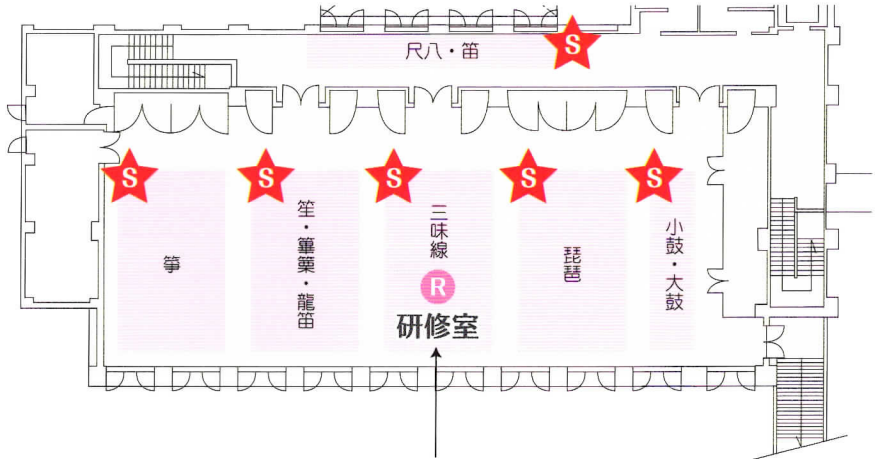
**G** 「指揮!実験室」ワークショップ  
9/15 13:00 ~ 13:50 1F / 視聴覚室 ★詳細 P8 へ

**H** 「尺八ソロワンポイントアドバイス」ワークショップ  
9/15 14:00 ~ 14:50 1F / 視聴覚室 ★詳細 P8 へ



光のまち阿南：LED

# 2F



**R** 和楽器体験 9/15 11:00～18:00 9/16 11:00～16:00  
 2F / 研修室 ★詳細 P9 へ

**I** ★ウエルカムイベント★  
**物産展ブース**  
 9/15.16 10:00～17:00

1F / ホワイエ  
 徳島には豊かな自然と人の営みに育まれた名産品が数多くあります。徳島の味と技を、ぜひお楽しみください。

**J** ★ウエルカムイベント★  
**三番叟 (さんぼそう)**  
 9/15 18:00～18:30

1F / ホワイエ  
 山口座木偶保存会による「三番叟」

**K** **楽器製作実演**  
 9/15 11:00～18:00 9/16 11:00～16:00  
 1F / ホワイエ ★詳細 P9 へ

**L** **故 三木稔氏の軌跡**  
 9/15 11:00～18:00 9/16 11:00～16:00  
 1F / ホワイエ ★詳細 P10 へ

**M** **遊びながら邦楽を知る**  
 9/15 11:00～18:00 9/16 11:00～16:00  
 1F / 中庭回廊 ★詳細 P10 へ

**N** **「宇宙箏」展示**  
 9/15 11:00～18:00 9/16 11:00～16:00  
 1F / 中庭回廊 ★詳細 P10 へ

★ウエルカムイベント★  
**O** **お茶のおもてなし**  
 9/15.16 13:00～17:00

1F / 茶室  
 阿南市文化協会茶道表千家流・裏千家阿波南海の皆さんがお茶のおもてなし。お気軽にお立ち寄り下さい。

**P** **お休み処 ～ちょっと一休み～**  
 9/15 11:00～18:00 9/16 11:00～16:00  
 1F / ラウンジ  
 どなたでもお休み頂けるスペースです。語源カルタを見ながらごゆるりと。

**Q** PA (音響) を使用する  
 邦楽ワークショップと癒し音楽  
**交流・質問会** 9/15 10:00～12:00  
 1F / 工芸室 ★詳細 P7 へ

**R** 2F / 研修室  
**スタンプラリー**  
 「和楽器体験」コーナーをまわって各楽器の問題に答えよう。  
 先着50人(各日)  
**全問正解の方にプレゼントがあります！**  
 ☆ …スタンプラリー出発点 (ホワイエ受付) ☆ …スタンプラリー・ポイント





## ごあいさつ

国民文化祭実行委員会会長／文化庁長官 近藤 誠一



「第27回国民文化祭・とくしま2012」が、9月1日から12月14日までの105日間にわたり、徳島県において盛大に開催されます。

国民文化祭は、国民の皆様が日ごろから行っている文化芸術活動を、全国的な規模で発表、競演、交流する文化の祭典です。

昭和61年の第1回大会以来、国民の文化活動への参加や、地域文化の発展などを目的として、毎年開催地の文化・歴史を生かした特色ある事業を実施し、地域の活性化にも貢献しております。

第27回目となる今大会は、平成19年秋に開催された「第22回国民文化祭・とくしま2007（おどる国文祭）」に続き、全国初の先催県による2度目の開催になります。

前回の国民文化祭では、4大モチーフとして位置付けた「阿波おどり」、「阿波人形浄瑠璃」、「阿波藍」、そして、徳島がアジア初演の地である「ベートーヴェン第九」を始め、徳島に古くより受け継がれてきた徳島ならではの「あわ文化」を全国に向けて発信しました。

今大会では、2度目の開催ということ踏まえ、前回大会以降に地域で行われた文化資源の活用や人材の育成など、これまでの5年間の取組を集大成する大会として、徳島県内全24市町村を舞台に、84の多彩な事業を開催いたします。このように他県に先がけた、中長期視野に立った文化による地域活性化の試みは非常に注目されます。

徳島県は、「四国三郎」の異名を持ち、徳島に大きな富をもたらした四国最大の大川「吉野川」や、その流れによって古くより栄えた阿波藍など、豊かな自然と文化資源の宝庫でもあります。

これらを十分に活用し、大会テーマである「『文化の力』でまちづくり!」のもと、徳島の魅力を全国に向けて発信することは、県内各地域の文化力の向上や、伝統を将来にわたって継承していく意思の確認だけでなく、それを通して我が国の文化力の向上にも大いに寄与するものと期待しています。

結びに、開催に当たり格別の御尽力をいただきました徳島県、開催市町村、文化団体をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げます。

第27回国民文化祭徳島県実行委員会会長／徳島県知事 飯泉 嘉門



「第27回国民文化祭・とくしま2012」に、ようこそお越し下さいました。全国各地からお集まりの皆様を心から歓迎申し上げます。

徳島県におきましては、平成19年秋に開催いたしました「第22回国民文化祭・とくしま2007（おどる国文祭）」を契機とした文化振興機運の高まりを継承・発展させるため、平成20年度より順次、4大モチーフに位置付けた「ベートーヴェン・第九」、「阿波人形浄瑠璃」、「阿波藍」、「阿波おどり」をテーマに、全国に「あわ文化」を発信するとともに、市町村や文化団体の皆様が行う文化活動への支援、次世代・後継者の育成に積極的に取り組んで参りました。

今年度、その集大成となる「『おどる国文祭』5周年記念事業」として、9月1日から12月14日までの105日間、同一都道府県としては「全国初」となる二度目の国民文化祭を開催し、県内全24市町村を舞台に多彩な事業を繰り広げております。



そして、『文化の力』でまちづくり!』をテーマに掲げ、「おどる国文祭」以降、本県が育ててきた文化力を大きく開花させるとともに、文化活動を通じて「伝統文化の継承」はもとより、「ひとづくり」、「地域の活性化」を図ることにより、文化の力を積極的に活用したまちづくりを目指しているところです。

このたび、文化庁国民文化祭事業として開催の運びとなりました「全国邦楽合奏フェスティバル」にご来場の皆様におかれましては、地域の魅力と活力の創造に繋がる、徳島発の「新しい形の国民文化祭」を存分にご体感ください。

また、ご出演の皆様におかれましては、日頃の活動成果を大いに発揮されるとともに、これを機に、交流の輪を一層拡げられますようご期待申し上げます。

加えて、徳島は世界一の「鳴門の渦潮」や阿波藍を育んだ四国三郎「吉野川」、西日本第二の高峰「剣山」といった豊かな自然に恵まれており、「なると金時、すだち、阿波尾鶏、鳴門わかめ」の4大ブランドをはじめとする新鮮で美味しい「食の宝庫」でもあります。折角の機会ですので、こうした徳島ならではの魅力についてもご満喫いただければ幸いです。

結びに、「全国邦楽合奏フェスティバル」の開催にあたり、多大なご尽力をいただきました第27回国民文化祭阿南市実行委員会をはじめ関係の皆様へ深く感謝を申し上げますとともに、お集まりの皆様のますますのご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、ごあいさついたします。

第27回国民文化祭阿南市実行委員会会長／阿南市長 岩浅 嘉仁



この度、第27回国民文化祭・邦楽への招待 和の元気! 未来邦楽へ『全国邦楽合奏フェスティバル』を阿南市で開催するにあたり全国各地より多くの皆様のお越しを心から歓迎申し上げます。

阿南市は、徳島県の南部における中核都市で、自然環境にあふれた橘湾一帯のリアス式海岸、水辺豊かな那賀川、遍路札所の太龍寺や平等寺、阿波水軍などの海洋文化の伝統、伊島のサユリや蒲生田岬のアカウミガメなど、豊かな自然や歴史文化が今に息づく海洋ロマンの都市です。また、たけのこ、ハウスミカン、すだち、にんじん、いちごなどの色とりどりの野菜や果物、ランやカーネーションなどの生花が栽培されています。清らかな川は、アユやウナギ、豊かな海は、海産類の宝庫です。

古くから城下町であった富岡町周辺には中心市街地が、また、阿波三港の一つとして栄えてきた橘町には副都心的市街地が形成されています。

さらに、臨海部は、天然の良港として古代から漁港の根拠地でしたが、今日では工業開発及び西日本を代表する電源立地の拠点として、海洋レクリエーション地帯として脚光を浴びるようになっています。

また、阿南市に本社をおく化学会社が製造するLED(発光ダイオード)を活用したまちづくり事業は、「光のまち阿南」として全国に情報発信を行い、多くの反響を呼んでいます。

「おどる国文祭」5周年記念事業・とくしま2012(第27回国民文化祭)の開催期間は平成24年9月1日から平成24年12月14日まで開催されます。

阿南市におきましては、邦楽への招待 和の元気! 未来邦楽へ『全国邦楽合奏フェスティバル』を開催いたします。

このたび、出演される皆様には、日頃の活動や練習の成果を十分に発揮されるとともに、盛り多き文化交流の場となりますことを願っております。

また、ご来場の皆様には、演奏会のほか、たくさんの一流芸術家のワークショップを受けることができ、ショーケースを実施し、邦楽が奏でる和の音楽を思い出としてお持ち帰りいただければ幸いです。

最後になりましたが、第27回国民文化祭・邦楽への招待 和の元気! 未来邦楽へ『全国邦楽合奏フェスティバル』の開催にあたり、格別のご支援とご協力を賜りました関係者の皆様へ心から感謝申し上げます、ご挨拶いたします。





いしかわのりひろ

## 石川 憲弘

京都大学邦楽部淑風会にて箏を弾き始める。箏を吉田興三郎、20絃箏を野坂操寿、17絃箏を宮本幸子、三絃を先代野坂操寿、指揮を稲田康に師事。文化庁芸術家国内研修生として、作曲を牧野由多可に師事。NHK邦楽技能者育成会第26期首席修了。その後講師として6年教授。宮城会作曲コンクール最高位入賞。オーケストラ、洋楽、民族音楽との共演、CDの出版、プロデュース多数。現在、邦楽アンサンブル「昴」代表。山梨邦楽合奏団「響鳴」指揮者。牧野由多可の会 副代表。岩波ジュニア新書「はじめての和楽器」編著。



いなだやすし

## 稲田 康

1972年京都芸術大学音楽学部指揮科卒、同年、ウイーン国立アカデミー留学。1977年帰国。指揮をハンス・スワロフスキー、外山雄三、山田一雄、伊吹新一に師事、作曲をフリードリッヒ・ノイマン、現代音楽をカール・オルフに学ぶ。帰国後、オーケストラ、オペラ、オペレッタ、ミュージカル、市川猿之助「スーパー歌舞伎等指揮、現在日本音楽集団指揮者、オーケストラ・アジア音楽監督指揮者、東京ユニフィル専任指揮者、1995東フィルを指揮した、NHK製作の番組が、プラハ国際テレビ祭チェコクリスタル現代音楽優秀賞を受賞。



さかたせいぜん

## 坂田 誠山

神野生山・人間国宝島原帆山両氏に尺八を師事。1969年にブルガリアにおける世界民族音楽コンクールで入賞以来、伝統音楽から現代作品に至る幅広いレパートリーによる国内外での尺八リサイタルを始め、チェロの堤剛、ヨーヨー・マ、日本のオーケストラやニューヨークフィルなど、世界的に著名な音楽家との共演も数多く、精力的な演奏活動を展開している。現在は「オーラ」の代表を務めながら、その運営と独自性確立に全精力を注いでいる他、ドルチェ邦楽合奏団グループの代表として邦楽普及活動にも積極的に関わっている。又 昨年公益法人格を認可された日本尺八連盟の初代の会長を任命されイノベーションとマーケティングを掲げ、新しい邦楽の魅力を求めて邁進している。



さわいかずえ

## 沢井 一恵

宮城道雄に師事。東京藝術大学音楽学部卒業。1979年沢井忠夫と沢井箏曲院設立。実験的活動を通し、伝統楽器としての箏と西洋音楽、現代音楽、JAZZ、即興音楽などとの接点を探求。99年NHK交響楽团委嘱、ソフィア・グバイドゥーリナ作曲の箏コンチェルト『樹影にて』をシャルル・デュトワ指揮でアメリカツアー。国内では、五嶋みどり（ヴァイオリン）とのプロジェクトを展開中。2010年4月坂本龍一作曲『箏とオーケストラのための協奏曲』（初演）、『樹影にて』を佐渡裕指揮で演奏。CD「点と面」をcommonsより、また「THE SAWAI KAZUE」を邦楽ジャーナルより発売。



たかはしあきくに

## 高橋 明邦

桐朋学園音楽学部門打楽器科卒。合奏、指揮法を齋藤秀雄に師事。在学中三木稔と出会い日本音楽集団入団（70～10）。サイトウキネン（84～01）。新星日本交響楽団（現・東フィル／76～82）。東京混声合唱団、日本オペラ協会、日本現代音楽協会等で初演多数。NHK邦楽技能者育成会講師（32期～40期）。三善見氏と共に地域創造活動にも力を注ぐ。創設団体「あさくら讃歌／福岡朝倉市」「中新田縄文太鼓／宮城県加美町」「国宝松本城古城太鼓／長野県松本市」「むなかた太鼓／福岡県宗像市」「長門太鼓オーケストラ・翔門／山口県長門市」。現在、桐朋学園大学特別招聘講師／障害者塾・ゆきわりそう・講師。



たなかたかふみ

## 田中 隆文

1987年月刊誌「邦楽ジャーナル」を創刊、現在代表取締役・編集長。99～05年日本初の邦楽専門ライブハウス「邦楽ジャーナル倶楽部・和音」開業。06～10年NYの国際芸術見本市「APAP」で「Hogaku: New Sounds of Japan」プロデュース、同時に米国各地で講演。06年～邦楽アソシエーションを創設して和楽器業界月刊紙「和楽器文化」発行。09年宇宙飛行士山崎直子氏の協力要請を受け、小川楽器（福山市）と組んで宇宙箏を開発。12年「国際尺八コンクール」開催。





たむら たくお

## 田村 拓男

1964年、日本音楽集団の創立に打楽器奏者として参加、後に指揮者として活躍、最近では年3回の定期演奏会を中心に全国での公演に参加。海外公演もゲヴェント・ハウスオケとの共演(三木稔作曲「急の曲」～1981年)、プラハの春音楽祭(2001年)ほか、これまで30次、世界32カ国、のべ151都市で247回の演奏会に参加。斉藤秀雄(指揮)、山田一雄(指揮)、石桁真礼生(作曲)、藤舎華鳳(長唄囃子)に師事。東京芸術大学講師(1989～91年)。日本音楽集団として文化庁芸術祭大賞(1970年)、音楽之友社賞・レミー・マタン音楽賞(1978年)、モービル音楽賞(1990年)等を受賞。現在日本音楽集団代表、NPO法人邦楽指導者ネットワーク21の代表理事。



とね

## 遠 TONE 音

日本古来の楽器「箏」「尺八」に「ギター」を加えたユニークな編成。  
使用楽器の古いイメージとは裏腹に最先端技術に支えられ、ストレスのない演奏を可能にし、それらによる音楽は「究極のリラクゼーション」と呼ばれている。  
テーマである生まれ育った北海道を深く思う心は、すべての人に故郷を思い起こさせる力を持ち、深いリラクゼーションへと誘う。  
1988年結成、95年NHKテレビ番組「人間マップ」出演や、コーラスグループ「サーカス」とのジョイントコンサートなどを機に全国的な展開へ発展。



のさか そうじゅ・けいこ

## 野坂 操壽 (恵子)

母初代野坂操壽から手ほどきを受け、9歳で加藤柔子に古典箏曲・地歌三絃を師事。東京藝術大学修士課程修了。1965～82年日本音楽集団団員。69年二十絃箏を開発。86年小劇場ジャン・ジャンを拠点に、自作曲のライブツアーを3年間継続。91年二十五絃箏を発表。02年芸術選奨文部科学大臣賞。03年紫綬褒章、二代野坂操壽襲名。10年度日本藝術院賞。  
現在、桐朋学園芸術短期大学教授、他。

photo ヒダキトモコ



ふるや てるお

## 古屋 輝夫

東京学芸大学数学科卒業。NHK邦楽技能者育成会卒業。横山勝也氏に師事し、その尺八楽全てを修得・継承。NHK邦楽オーディション合格。国内リサイタル多数。海外の招待演奏またセミナー多数。国際尺八フェスティバル(岡山、コロラド、東京、ニューヨーク、シドニー)を演奏および企画でサポート。尺八音楽としての守備範囲は古典本曲から前衛まで。合理的尺八吹奏法の研究、尺八古典本曲の研究・演奏、は広く認められている。CD「尺八酔奏」、「箏絃秘抄」。国際尺八研修館教授。青山NHK文化センター講師。



ほしだ いちろん

## 三代 星田 一山

幼少の頃より都山流尺八楽会 初代星田一山に師事し、初代没後二代目星田一山に師事し現在に至る。  
昭和55年 大阪音楽大学箏専攻卒業、昭和60年大阪文化祭 奨励賞を受賞 平成6年都山流尺八楽会主催 本曲コンクール全国大会で一位金賞、文部大臣賞を受賞、平成16年10月三代 星田一山 襲名  
古来より伝えられている本曲と三曲合奏に基本において伝統的な「音」を追求しながら、尺八で表現できるさまざまなジャンルの音楽に取り組んでいる。  
また大阪音楽大学では尺八の実技指導のほか、教職課程を選択している学生に対し、中学、高校での邦楽教育をどのように導入、及び指導していくのかといった「邦楽指導法」という授業を担当。



ユ・チュンホ

## 留春坞(uchoono)

1969年韓国大邱(テグ)で生まれ、韓国延世大学を卒業。  
現在はソウルで韓国の伝統音楽をテーマにした月刊誌「Lara ララ」編集長を務めている。  
韓国の伝統音楽と他ジャンルの音楽や、外国の伝統音楽との交流等、多くの分野に関心を持っている。特に、日本・中国の伝統音楽の比較研究をしている。  
現在活動している伝統的な音楽人たちの成長過程を記録する作業を通じ、韓国の伝統音楽と近隣諸国の伝統音楽の未来がもっと大衆性を確保する方向でいくことを願っている。



Work

演奏

## PA (音響) を使用する邦楽ワークショップと癒し音楽

- 日時 / ワークショップ&ミニコンサート・・・9月14日(金) 18:30～21:00  
交流・質問会・・・・・・・・・・9月15日(土) 10:00～12:00
- 会場 / 1F 夢ホール(ワークショップ & ミニコンサート) 1F 工芸室(交流・質問会)

出演者：遠 tone 音 (三塚幸彦、小野美穂子、曾山良一)



- なぜPAを必要とするか
- PAと生との違いを説明・実演 (PAを入れた演奏コンサート)

1988年結成の私たち遠TONE音はPAを前提とした音作りをしてきました。

「PAを使うのは実力がないからだ」邦楽関係の方々からそんなことを言われながらも結成25年を迎えようとしています。私たちが伝えたい「音楽にとって大切なこと」それは…。

## PAとは

PA=Public Adres (公衆伝達) の略称

実はヒットラーの演説を大衆に届ける為に作られたもので、Adresには演説の意味もあり、音声をより多くの人に明確に内容が分かるようにするために開発された物です。

現在はSR (Sound Reinforcement=補強、増強) と呼ばれることが多くなりました。

単に拡声するだけではなく、音楽的なニュアンスのサポートとして積極的に活用することを目的としています。

ヒットラー以前に発達したクラシック音楽、特にオーケストラは生で行うPAのような物でしょう。つまり、大勢の聴衆を相手に音楽を聴かせる事が出来るように、つまり大音量が出せるように楽器の改造や、ベルカント唱法など歌い方の工夫そしてオーケストラのように大人数で演奏するための演奏システムなどが確率されました。西洋クラシック音楽はこのような発展と共に、演奏家と作曲家、指揮者などの分業化が進んだ、非常に特殊な発展を遂げた音楽です。

PAが出来てから発達した音楽、ポップスなどでは無理な発音などをせずに、音声を増幅することを前提に、言葉のニュアンスを重要視した歌い方を可能にしました。

つまり、ポップスはクラシック的に歌うという事よりもよりお話しするような、言葉や内容、ニュアンスを重視する方向に発展しました。

楽器の編成も表現重視で、楽器同士の音量の差はPA (SR) で補うようになります。

それに伴い、専用のマイクやピックアップマイクも発達し、さらにはそういった装置を内蔵した、つまり、最初からPA前提の楽器がどんどん開発されてきました。

邦楽の世界も「邦楽は日本のクラシック」と考えて、生音で聴かせる事を主流にしていきましたが、どんどんポップス的な音楽や、ポップスのアレンジ等を取り上げる機会が多くなり、ポップス的な表現でしかも多くの人の前で演奏したいという欲求が高まっています。

\*PAを積極的に使うことで何が得られるのか？

\*何が損なわれるのか？

\*損なうことが有ってもそれ以上に得られる事は何なのか？

PAについて考えると共に、邦楽器に必要なノウハウなども探って行きます。



講演

## ミニ講演「邦楽と宇宙」

● 日時／9月15日(土) 11:00～11:20 ● 会場／1F 視聴覚室

講師：田中隆文（邦楽ジャーナル編集長）

1Fの中庭回廊に展示している「宇宙箏」と宇宙飛行士・山崎直子さんのことをお話しします。日本の箏と宇宙って、関係性のかけらも感じさせませんが、それを結びつけたのが山崎さんです。日本の伝統文化の素晴らしさを身をもって示してくれました。でも、宇宙に箏を運ぶまでには大変な努力が必要でした。

尺八のほうはいち早く宇宙に飛んでいます。1977年に打ち上げられた無人惑星探査期ボイジャー2号。宇宙人へのメッセージとして搭載されたディスクには日本の音楽の代表として『巢鶴鈴慕』が収録されています。水星には琴古流の祖・黒沢琴古の名前がつけられたクレーターがあるのをご存じですか？ 世界が認める日本の音楽家は、実は尺八吹きだったのです。

講演

## 「未来邦楽へ」パネルディスカッション

● 日時／9月15日(土) 11:20～12:20 ● 会場／1F 視聴覚室

司会：田中隆文（邦楽ジャーナル編集長）

パネラー：田村拓男、留春坞(ユ・チュンホ)（韓国国楽雑誌Lara編集長）、星田一山、石川憲弘、麻植武志

邦楽の普及と発展にはなにが必要なのでしょう。指揮者やプロ・アマチュアの奏者ら立場の異なるパネラーが現在の邦楽界の問題点を洗い出し、その解決方法を話し合います。お隣韓国の国楽の状況は？ ソウルから国楽雑誌編集長も招いてお話を聞きます。国楽と比較することで見えて来ることはどんなことでしょうか。邦楽の未来について、みんなで考えたいと思います。

Work

## 「指揮!実験室」ワークショップ

指揮者稲田康氏による公開レッスン

● 日時／9月15日(土) 13:00～13:50 ● 会場／1F 視聴覚室

指揮者：稲田 康（オーケストラアジア指揮者）

◎曲目／ダンス・コンセルタントI〈四季〉 三木 稔 作曲 ◎演奏／徳島邦楽集団

公募で選ばれたアマチュア邦楽合奏団「徳島邦楽集団」が、指揮者 稲田康氏を迎え公開レッスンを実施。プロによる指導をお楽しみ下さい。

## 「徳島邦楽集団」

年齢・経験もバラバラなアマチュア合奏団ですが、「音楽が大好き」という想いをひとつにアットホームに活動しています。初めてのプロの指揮者の方のレッスンを受ける事ができ、光栄です。

Work

## 「尺八ソロワンポイントアドバイス」ワークショップ

● 日時／9月15日(土) 14:00～14:50 ● 会場／1F 視聴覚室

指導者：坂田誠山（邦楽創造集団オーラJ代表）

尺八演奏家 坂田誠山氏による尺八ソロワンポイントレッスン。

尺八は一音成仏を実現してこそ本来の魅力を発揮します。今回のワンポイントはその点に着目し私の作品「匠」及び「息吹」の曲を使ってその表現方法をレクチャーしようと思っております。



# 和楽器体験、楽器製作実演

● 日時 / 9月15日(土) 11:00 ~ 18:00 9月16日(日) 11:00 ~ 16:00

● 会場 / 和楽器体験：2F 研修室 楽器製作実演：1F ホワイエ

和楽器体験 (箏、三味線、尺八、笛、薩摩琵琶、小鼓・大鼓、笙、箏、龍笛) 楽器製作実演 (鼓、箏、三味線)

15日  
土

16日  
日

## 和楽器体験

日本の楽器といえば、箏、三味線、尺八、琵琶、雅楽器などさまざまあります。それらが育まれてきた世界はそれぞれ異なり、盲人の組織だった当道座によって発展した<sup>こと</sup>箏、<sup>こおそう</sup>虚無僧によって広められた尺八、町民によってさまざまなジャンルが誕生した三味線、宮廷や神社などの儀式で演じられてきた雅楽といった具合です。そして、今、それらはジャンルを越えて交流し新たな音楽が生まれ、さらに洋楽器とのセッションも盛んに行われています。

今回、そういった楽器に触れていただきます。優雅に演奏しているように見えますが、実際は絃が強く張られていて意外に体力がいる箏、鳴らしてみると心地よいノイズが聞こえる三味線や琵琶、コツさえわかればすんなり音が鳴る尺八、吹いても吸っても鳴る笙<sup>しょう</sup>…実際に触れてみると、見ていただけではわからない発見がいっぱい!



17本の竹を並べた室の体験コーナー



桑の木で作られた薩摩琵琶の体験コーナー (琵琶の製作工程も展示)



鼓の体験コーナー

## インストラクター

- ◆ 箏・三味線・尺八 / 徳島県三曲協会=大西晴一二、宮武晴園、森 保山、清水露保、畑 笙保、内藤比露枝、仁木古都風、菊香華堯子、吉崎夕華、ほか全35名
- ◆ 笛 / 庄野龍夫
- ◆ 笙・箏・龍笛 / 中村華子、高多祥司、伊崎善之  
阿波雅楽会=多田耕浩、住田高康、元淵良太、多田真康、佐藤正江、島川卓男
- ◆ 琵琶 / 須田誠舟、和田妙舟、石田克佳
- ◆ 鼓 / 西川啓光、長田伸一郎

## 楽器の製作実演

楽器の製作実演コーナーでは、箏、三味線の製作工程の一部と、鼓の皮張りをご覧ください。箏の素材は桐の木。なかでも会津桐が高級とされています。原木をどのように切断すれば箏の表面に渦が巻いたような木目が出るのか、真っすぐ縦に並んだ木目が出るのか。さらに箏の内側はどのように彫られているのか、どの部分の作りで響きが変化するかなど、職人が説明します。

三味線の素材は、<sup>かりん</sup>胴が花梨で、<sup>さお</sup>棹は奏者にもっとも好まれるのが堅い<sup>こうき</sup>紅木です。花梨はタイやミャンマーから、紅木はインドから輸入しています。バチに使用される象牙やべっ甲は、現在、ワシントン条約などで輸入できないため、以前輸入されたものを使っているのが現状です。皮はジャンルによって異なり、猫の原皮は台湾から、犬はタイから輸入しており、その皮張り作業も予定しています。

鼓の素材は胴が桜の木で、皮が馬です。胴の内側の彫り方「かんな目」は作者の系統によって異なり、古いものは荒く、時代の流れとともに繊細になってきます。また古い胴の内側には漆が塗られています。それらを見比べ、さらに、馬のどの部位の皮が一番良く響くのかなどのお話を交えながら、皮張りの実演をします。プロの奏者もまず目にするのができないこのチャンスをお見逃しなく!



鼓の皮張り実演



箏の製作実演



三味線の製作実演

- ◆ 箏・三味線製作実演 / 箏：柴田義行 (SEION)、三味線：戸倉正志 (SEION)
- ◆ 鼓皮張り実演 / 久保木敏行

※写真は全て「日本の音フェスティバル」より (当日の箏、三味線の演奏者は写真と異なる)



## 故 三木稔氏の軌跡

- 日時 / 9月15日(土) 11:00～18:00 9月16日(日) 11:00～16:00
- 会場 / 1F ホワイエ

かつてない創造活動を国際的に展開、日本史オペラ9連作完成の偉業を成し遂げた徳島市生まれの作曲家。

東京芸大作曲科卒。洋楽現代邦楽共に数多くの作品を残し、特に「三木稔 日本史オペラ9連作」《春琴抄》《あだ》《じょうり》《ワカヒメ》《静と義経》《隅田川+くさびら》《源氏物語》《愛怨》《幸せのパゴダ》は世界に類をみない偉大な功績です。日本音楽集団・オーケストラアジア創設に関わり、長きに渡り現代邦楽をリード。三木オペラ舎(元歌座)・結アンサンブル・邦楽創造集団オーラJ・アジアアンサンブルを創立、八ヶ岳「北杜国際音楽祭」を立ち上げ芸術監督やプロデュース等、多岐にわたり才能を發揮。

日頃より「アマチュアの協議会」が必要であると説き続けた三木稔氏の言葉がきっかけとなり「全国邦楽合奏協会」が誕生しました。三木稔氏の自叙伝を中心に邦楽分野での作品リストや「日本史オペラ9連作」初演時の写真・チラシ等を紹介します。

芸術祭大賞、芸術祭賞、シロー・オペラ賞、徳島県文化賞、紫綬褒章、旭日小授章、よんでん芸術文化賞、第20回福岡アジア文化賞の芸術・文化賞(日本人で初受賞)などを受賞。



## 「宇宙箏」展示

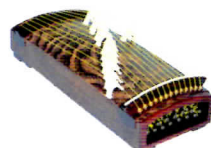
- 日時 / 9月15日(土) 11:00～18:00 9月16日(日) 11:00～16:00
- 会場 / 1F 中庭回廊

2010年4月11日、国際宇宙ステーションで山崎直子宇宙飛行が演奏した宇宙箏の姉妹箏。工夫がいっぱい!

宇宙飛行士・山崎直子さんが2010年に国際宇宙ステーションで演奏した「宇宙箏」(同形の姉妹箏)を展示します。

山崎さんは、小学1年生から箏の練習を始め、「宇宙でお箏を弾きたい」という夢を実現しました。この箏を開発したのは邦楽ジャーナル(東京)と小川楽器製造(福山)で、様々な工夫がほどこされています。長さ35cm、幅13cmで、通常の箏の1/5サイズですが、材質は通常のものと同じで胴には桐が、龍角には紅木が使われています。小さくても音の響きをできるだけ良くするために、絃の長さをぎりぎりいっぱいにしてネジで調絃するようにされています。

裏板の音穴からは綾杉彫りがみられますが、これも音を良くするための昔からの工夫です。宇宙空間では箏を固定しないと浮いてしまいますので、猫足を平らにしてマジックテープがつけられるようにし、柱がはずれても飛び散らないようにと、糸でつなぐための小さな孔をあけています。



りゅうかく 宇宙箏

## 遊びながら邦楽を知る

- 日時 / 9月15日(土) 11:00～18:00 9月16日(日) 11:00～16:00
- 会場 / 1F 中庭回廊 (1F ラウンジ: 語源カルタ)

歴史図表、検校・虚無僧に変身、語源カルタ、箏と琴のちがい、三味線と箏の材料の重さ比べ、三味線の音はどこが一番響く?、尺八アラカルト



検校と虚無僧の顔出し看板



「箏」と「琴」は違う楽器です。普段よく目にする13本の絃が張られた楽器は箏です。今回、琴=七絃琴も用意。2つの楽器を弾き比べてその違いを体感してください。また、箏と三味線の材料の重さ比べをしたり、聴診器で三味線は楽器のどこが鳴っているのか確認しましょう。

箏の音楽を発展させた検校と、尺八を各地に広めた虚無僧の顔出し看板や虚無僧の変身グッズも用意。編み笠は是非かぶってみて!

様々な種類の日本の音楽はいつ頃成立し、つながりはどうなっているのかは3m大の「日本音楽歴史図表」「三味線歴史図表」「太鼓歴史図表」などで確認できます。邦楽を語源とする日常の言葉の数々を表した「語源かるた」はあなたを雑学博士にすることでしょう。



歴史図表



語源かるた

協力/徳島県三曲協会 ※写真は全て「日本の音フェスティバル」より



● 日時 / 9月15日(土) 19:00～21:00 ● 会場 / 1F 夢ホール

現代邦楽の先駆者として常に第一線で活躍する箏奏者の野坂操壽・沢井一恵と、10代・20代の箏・尺八奏者の“響宴”  
出演者：野坂操壽〈箏・二十五絃箏〉、沢井一恵〈十七絃〉、10代・20代の箏・尺八奏者

## 変絃自在



©ヒダキトモ

現代邦楽の先駆者として常に第一線で活躍する箏奏者の野坂操壽と沢井一恵が初めて手を組み、表情豊かでエネルギッシュな箏糸の響きの魅力を多くの人に体感してもらおうと昨年からスタートさせたコンサートツアー「変絃自在」。徳島県では、箏や尺八に親しむ20代までの青少年たちと共演します。出演者を公募したところ、阿南中学校、高浦中学校、石井中学校、城東高等学校、野村高等学校の邦楽部員らを中心に、73人が集合。夏休みを返上しての練習成果をお聴きください。「変絃自在」とは、「変幻自在」をもじった言葉で、心のままに自由に絃を操り、音楽を奏でることを表します。

## ◆ 十七絃・六段

〈作曲者不詳〉

十七絃 / 沢井 一恵

「『六段』に始まり『六段』に還る」といわれる箏の名曲を、「十七絃は低音箏というよりも、箏属の原初の音としてとらえる面が強い」という沢井一恵が十七絃で響かせます。この曲は、各段52拍子（初段のみ54拍子）の6段構成です。箏の絃の太さが18匁もんめに対して十七絃は35～80匁とかなり太く、音の高さや爪の入射角度などの試行を重ねた結果、第一・二絃かの掻き爪かきづめ（※）のみ極端に響きすぎるため、その箏柱を外して第三絃（B<sup>b</sup>）からの平調子で演奏します。地の底から響くような野太い響きをたっぷりとお楽しみください。

※掻き爪…隣接する2本の絃を、中指で向こう側から手前に素早く鳴らす奏法。

## ◆ 二十絃箏曲 物云舞

二十五絃箏 / 野坂 操壽

〈伊福部昭作曲〉  
昭和54年(1979)

野坂操壽の第8回リサイタルにて委嘱初演。当時のプログラムに伊福部昭は次のように記しています。  
「物云舞とは、平安朝中期に興った歌舞の一様式で、歌いながら舞うのがその特徴とされています。（中略）この歌いながらその心情を舞うという様式が持つ典雅さへの思いが、この作品を書く動機となっています」  
この曲は二十絃箏のために生まれましたが、二十五絃箏開発後は二十五絃箏で演奏。気品に満ちた二十絃箏の代表作といえるこの珠玉の作品を、二十五絃箏の深い響きでご堪能ください。

## ◆ 青蓮華

二十五絃箏 / 野坂 操壽  
十七絃 / 沢井 一恵〈前田智子作曲・「変絃自在」公募入賞作品〉  
平成23年(2011)

野坂操壽・沢井一恵の新たな世界を生み出し、箏音楽のさらなる魅力を伝える作品をと、昨年公募して（主催=邦楽ジャーナル、協力=日本現代音楽協会、後援=日本伝統文化振興財団）集まった曲のなかから選ばれた作品です。東日本大震災の津波によって泥に埋もれた町や田畑から一輪の華が咲いて欲しいと願って創られました。作曲の前田智子さんは大阪音楽大学大学院作曲専攻を修了し、各種作曲コンクールで入賞入選、現在、日本作曲家協議会会員、作曲家グループ〈邦楽2010〉に所属しています。

— 休憩 —



## ◆ 中空砧による箏協奏曲～ 五段砧の変容

〈高橋久美子作曲・「変絃自在」委嘱作品〉  
平成24年(2012)

箏 ソロ / 野坂 操 壽

箏 高音 / 岡澤璃子、森彩香、米田友香、竹井桃花、坂本彩乃、森野碧紗、武市彩花(阿南中学校箏曲部) / 森口依莉、瀬部史葉、田岡里菜、三木菜月(高浦中学校音楽部) / 久米真依、姫田やよい、篠塚真絢、古川明日香、墨田扇(石井中学校邦楽部)

箏 低音 / 北岡知夏、中西美優、小松真子、小松恭子、大久保沙耶、吉田彩夏(阿南中学校箏曲部) / 坂東亜侑、川真田瑞樹、山本優佳(高浦中学校音楽部) / 河野紗弓、披田真里、濱田千鶴、坂本美卯、西浦歩里、寺山依里奈(石井中学校邦楽部)

十七絃 / 古城琴音、廣瀬真由美、吉川美南帆(阿南中学校箏曲部) / 西浦愛香、阿部里菜(高浦中学校音楽部) / 阿部梨々花、斎藤佑紀奈(石井中学校邦楽部)

幕末におこった箏曲復興運動のなかで生まれた光崎検校の『五段砧』は、本格的な箏二重奏曲として注目され、こんにちまで箏奏者の憧れの作品として演奏されてきました。それをひとりで弾こうと宮城道雄が昭和28年に作曲したのが『中空砧』です。さらにそれをもとに箏協奏曲として三段形式で作られたのがこの曲です。初段と三段は『中空砧』と『五段砧』にそって、独奏箏と箏群の掛け合い、ユニゾン、主旋律と伴奏の対比などが明確に提示されています。そして二段は、『中空砧』にそった手付けから徐々に無調へと展開し、現代の“砧”が響きます。

## ◆ 尺八古典本曲「大和調子」

尺 八 / 荒木明美、岩佐明想、岡川明功、岡田珠奈、近藤寛泰、佐々木明人、高橋創、中尾明達、三好栄山、森明恵

演奏をはじめる前に、音の調子を、そして演奏者の心身を整えるために奏する「調子」。吹奏上の技巧を極限まで抑え、虚無僧尺八のエッセンスを凝縮した1曲となっています。今回は、徳島県三曲協会の10代、20代の尺八奏者、四国大学と城東高等学校の邦楽部員が流派を越えて披露いたします。

## ◆ 二つの群の為に

〈沢井忠夫作曲〉  
昭和51年(1976)

箏 ソロ / 野坂 操 壽

十七絃ソロ / 沢井 一 恵

箏 I / 木下萌花(小学4年) / 小野晴香(城東高等学校邦楽部)  
大塚理奈、辰日光、兵頭穂乃花、大塚美里(野村高等学校箏曲部)

箏 II / 平田智美 / 古林叶子(城東高等学校邦楽部) / 宇都宮紗弥、岡田美季、長谷川弥生、尾下愛純(野村高等学校箏曲部)

箏 III / 梅岡優(徳島大学邦楽部) / 神田愛弓(城東高等学校邦楽部)  
大石奈々美、土居里紗、兵頭悠起子(野村高等学校箏曲部)

十七絃 I / 平田雅人 / 林優里(城東高等学校邦楽部) / 楠知佳、薬師神桃子(野村高等学校箏曲部)

十七絃 II / 宮内夏澄 / 伊藤奈緒(城東高等学校邦楽部) / 松下奈緒、植木美紗(野村高等学校箏曲部)

沢井忠夫・一恵の大阪・福岡連続ジョイントリサイタルのために書かれました。沢井忠夫作曲の協奏曲として初めて十七絃群が設けられ、箏4パート、十七絃3パートと厚みのある音構成になっています。伝統的な手法や音型を避けた第1・2章と、それらを多用して箏の可能性を追求する第3章からなります。

「初演当時としては珍しい変拍子の初体験で、12音階の曲をいきなり半音階進行で弾き出す箏にビックリしました。当時、それを弾くことの難しさ、楽しさで、興奮して練習した思い出があります」(沢井一恵)

## ◆ 箏と十七絃による 百花譜 一春、夏、秋、冬一

〈沢井忠夫作曲〉  
昭和58年(1983)

箏 / 野坂 操 壽

十七絃 / 沢井 一 恵

華やかに百花繚乱をうたう「春」、けだるい芳香を漂わす白く大きな花の泰山木が作曲家自宅に咲いていた「夏」、とりわけ音楽的・絵画的な季節に感じるといふ「秋」、雪積もるなかで生命の強さを叫んでいるような深紅の花びらの寒椿が咲く「冬」の4部構成で、切れ目なく演奏します。

沢井一恵によると、夫・沢井忠夫との思い出の場面は花を伴うことが多く、一恵が東京藝術大学1年生の遠足のとき3年先輩の忠夫がレンゲ草を摘んで手にしている姿が印象に残る最初といいます。沢井忠夫の作品は花を題材にした曲が多く、これはその中の1曲です。



● 日時 / 9月16日(日) 11:50 ~ 18:45 ● 会場 / 1F 夢ホール

地域を越え邦楽合奏を楽しむ愛好者を全国より公募、厳正なる抽選により22組を選出し、専門家の講評により3組を表彰します。オープニング「童夢」・フィナーレ「巨火」は、のべ160人の参加による一期一会の大合奏曲です。

講評/委員長・田村拓男(日本音楽集団代表) 石川憲弘(現代邦楽合奏指揮者・箏曲家) 稲田 康(オーケストラアジア指揮者) 坂田誠山(邦楽創造集団オーラJ代表) 高橋明邦(現代邦楽指導者・指揮者) 星田一山(邦楽合奏団「鼎」常任指揮者・尺八演奏家) 古屋輝夫(国際尺八研修館主任講師・尺八演奏家)

### 全国邦楽合奏協会誕生公演

2007年第22回徳島国民文化祭がきっかけとなり、4年をかけて邦楽愛好者が集う「特定非営利活動法人 全国邦楽合奏協会」が誕生しました。和楽器のすばらしさ・合奏の楽しさを広く国内外に発信する事により、邦楽の普及と発展・地域文化の振興・次世代への継承に寄与するものです。アマチュア・プロ・地域・流派を越え、未来の邦楽を考え、全国邦楽合奏協会誕生公演が実現しました。「邦楽合奏が野球やサッカーのように仲間と楽しめる事を夢見て!」

## 1 童 夢

作曲 / 吉崎 克彦 作曲

### Opening 合同合奏曲

箏・三味線・和太鼓などを使い、子供にも演奏しやすく、なじみ易い曲ということで、モチーフを東京・子供「わらべうた」に焦点をしぼり、六つの題材より、器楽合奏・編曲変奏部、ソロなどを混じせて一つの曲にまとめた曲です。



▲ 徳島県三曲協会出演者有志

#### 徳島県三曲協会 (会長: 大榎重重)

流派を越え日頃より邦楽の発展・学校邦楽支援・青少年育成事業など未来への伝統継承をひまえ、精力的に活動しています。

本日は、演奏・ボランティア組に分かれ皆心を一つに国文祭を盛り上げます。県外の皆さんとの交流を楽しみにしています。

#### 山上 明山

二代目星田一山に師事。作陽音楽大学器楽科卒業。平成18年徳島県文化奨励賞受賞。現在、都山流徳島県支部支部長、四国大学ほか邦楽講師。



指揮	山上 明山(徳島)					
箏 I A	内田 道子(徳島) 馬場真理子(熊本)	尾崎 藍(茨城) 広木都乃風(徳島)	木下 潤子(徳島)	桑原登志子(徳島)	佐藤 富子(徳島)	
箏 I B	酒井 高子(東京) 真島貴巴子(徳島)	豊野 彩音(徳島) 室 志津代(徳島)	中野 妙(徳島)	橋本 石基(岡山)	平岡雅楽織(徳島)	
箏 II A	天羽 悦子(徳島) 濱崎都桜伎(徳島)	大木 優子(徳島) 宮武古都浩(徳島)	小郷 宰(徳島) 山名 里香(大分)	加藤 知美(徳島)	多喜田聖風(徳島)	
箏 II B	大溝 清子(徳島) 宮岡 量子(徳島)	喜多谷みのり(徳島) 和田 智子(徳島)	島本 菊保(徳島)	清水 直子(愛知)	廣瀬雅伎京(徳島)	
十七絃 A	河合利仔子(静岡)	澤村 美紀(徳島)	宮内 夏澄(徳島)			
十七絃 B	森 由幾子(東京)	安波 素子(大分)	吉崎 夕華(徳島)			
三絃 A	菊香華堯子(徳島) 松本 愛子(東京)	渡川恵都風(徳島) 万石都節風(徳島)	仁木古都風(徳島) 山本欣志子(徳島)	樋田 恵子(兵庫)	菊華 茂美(徳島)	
三絃 B	岩野 秀子(徳島) 福永 雅豊(徳島)	佐々木律子(大分) 和田 陽子(徳島)	佐藤千代子(徳島) 渡邊 清恵(東京)	白田 智朱(徳島)	佃 菜々子(徳島)	
打楽器	久米見奈子(徳島)					
尺八	古屋 輝夫(東京)					
	赤星 星道(徳島) 岩佐 明想(徳島) 小栗 弘子(東京) 喜島由香菜(徳島) 高橋 侶山(徳島) 堤 学山(徳島) 羽田野 修(大分) 三好 栄山(徳島) 田村 珮盟(徳島)	伊丹 千山(徳島) 岩野 泰道(徳島) 貝出 光山(徳島) 近藤 晴芳(徳島) 立花 茂生(千葉) 中尾 明達(徳島) 英 宗雨山(徳島) 森 保山(徳島)	市原 紳山(徳島) 薄井 保俊(徳島) 計盛 卓山(徳島) 佐々木明人(徳島) 田淵 渦山(徳島) 中村 信山(徳島) 藤井 介山(徳島) 吉岡 里道(徳島)	市原 峻山(徳島) 大久保宴山(徳島) 片山 慶山(徳島) 清水 久司(愛知) 地紙 湫山(徳島) 中山 康夫(徳島) 細川 明修(徳島) 渡辺 藍山(徳島)	乾 友道(徳島) 岡川 明功(徳島) 岸越 明純(徳島) 白田 克道(徳島) 佃 伸道(徳島) 西尾 泰山(徳島) 松田 太山(徳島) 吉成 蒼山(徳島)	

\*五十音順





2 愛媛県立野村高等学校箏曲部

愛媛県

野村高校箏曲部は、創部24年目を迎えます。私たちは「一音一会」「箏志箏愛」を大切にしながら、勉学と部活動に励んでいます。昨年は全国高等学校総合文化祭に愛媛県代表として出場しました。

三つのフェスタルバラード

作曲／三木 稔

この曲は、三木稔先生のピアノ曲を野坂操壽先生が二十絃用に編曲した曲です。第一章「市のおもいで」、第二章「夜の地車」、第三章「木偶まわし」の三楽章で構成されていて、とても明るく魅力的な曲です。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 箏 I   | 大塚 理奈 | 大石奈々美 | 大塚 美里 |
| 箏 II  | 兵頭穂乃花 | 岡田 美季 |       |
| 箏 III | 土居 里紗 | 薬師神桃子 | 兵頭悠起子 |
| 箏 IV  | 宇都宮紗弥 | 辰巳 光  | 植木 美紗 |
| 十七絃   | 楠 知佳  | 松下 奈緒 | 長谷川弥生 |
|       | 尾下 愛純 |       |       |

16日



3 NPO 三曲合奏研究グループ

群馬県

毎年4月に”邦楽春の祭典”の定期演奏会を開催しております。来年度は設立30周年・第20回春の祭典定期演奏会を開催する事にしてあります。当会は箏・三絃・尺八の指導者が、流派を超越して研鑽する事を目的に結成、邦楽会では稀有な存在として評価されております。古典から新曲まで幅広い演奏と斬新な取り組みにより、公的行事・小中学校の鑑賞と指導・会社や団体のイベント等、幅広く活動しております。

上州物語第一章、第六章

作曲／川崎 絵都夫

群馬県をテーマとした「上毛かるた」より、歴史・風土・名所・旧跡を取り入れた、親しみやすい邦楽曲を県の補助金を基に、川崎絵都夫先生に作曲を依頼致しました。第1章から第6章で編成されていますが、この度の演奏は第1章”上州幻想”と第6章”鬼と雷神”のみの演奏になります。

- |       |       |        |       |       |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 箏 I   | 須藤 幸子 | 野口 雅扇  | 神成千美能 | 脇村 公子 |
| 箏 II  | 下野戸亜弓 | 眞下 照京  | 近藤 芳子 | 浅見久美子 |
|       | 渡辺 茂子 |        |       |       |
| 箏 III | 原 多喜子 | 小島恵美子  | 今岡美枝井 |       |
| 三絃    | 小林千誉能 | 大野雅楽之患 | 新井 芳子 |       |
| 十七絃   | 松枝 光枝 | 近藤 牧子  |       |       |
| 尺八I   | 江藏 無重 | 中里 笙捷  | 大里 照堂 |       |
| 尺八II  | 栗原 海重 | 山田 楓童  | 岸 星童  |       |



4 邦楽グループ連

大阪府

関西学生邦楽連盟のOB・OGが集まり2002年に結成。気軽に邦楽を楽しめるグループを作ろうという事で、練習会は年に2回、演奏会は2年に1回。負担にならないように気軽に邦楽を楽しんでいます。

雪人形の夢

作曲／大嶽 和久

雪の降る中に生まれた雪人形。雪国の寒さの中でひとり夢みる雪人形。その夢は母の温もりの中でみる童女の夢のごとく清らかで優しい。

- |      |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|
| 指揮   | 高橋久美子 |       |       |
| 箏 I  | 喜多 恵子 | 福井 京子 | 森田 淑子 |
| 箏 II | 麻田 寛子 | 濱崎 裕子 | 松山 京子 |
| 十七絃  | 喜多菜都美 |       |       |
| 尺八   | 坂本 雅広 | 清家 久司 | 田中 隆文 |
|      | 中村 浩也 | 野宮 英男 | 平山 るみ |
|      | 福井伸二郎 | 福地 一誠 |       |





## ダンス・コンセルタント I 〈四季〉

作曲／三木 稔

この曲は、北軽井沢で行われていた「邦楽器合奏研究会」受講生のために、三木 稔氏が組曲として再作曲。各章は四季を表現し、今回は《水巡る》《秋、そして》《エピローグ》の3章を演奏。

## 5 徳島邦楽集団

徳島県

ようこそ徳島へ！1998年に発足し、(会長：高原宏) 邦楽の部門や流派を超えた音楽活動を行う。定期的に演奏会を行うほか、「北杜国際音楽祭」に参加、韓国釜山国立国学院・ミシガン州SASA高校で演奏会を行う。

指揮	藤本 玲			
箏 I	有月 由依	石井 恭子	山本真佐子	玉西 和代
箏 II	野々村彩子	中村真紀子	安村 幸子	
三 絃	萩野あすか			
十七絃	白浜 妙子	多田 夕紀		
琵琶	成川 美佐			
尺八 I	高橋 政市	中村 信康		
尺八 II	英 崇夫	貝出 宏文	市原 均	西尾 久康
篠 笛	庄野 龍夫			
打楽器	久米見奈子	高野 等		



## 風のモザイク

作曲／水川 寿也

世界のどこかで生まれた風は国境も地域も関係なく次の風に繋がりながら世界中を吹き巡ります。自由奔放に吹く風の不思議な魅力を感じて作られた尺八・三絃・箏・十七絃による四重奏曲です。

## 6 邦楽合奏団 “韻”

大分県

1987年に設立。大分市を拠点に演奏会活動や各種イベント、学校訪問等を通して邦楽の魅力と可能性をアピールしてきました。現在、団員8名、現代曲から古典まで、また、邦楽の枠を超えて幅広く演奏しています。

箏	山名 里香	馬場 真理子		
三 絃	佐々木律子			
十七絃	安波 素子			
尺 八	羽田野 修			



## 「綺羅 KILA」徳島国文祭バージョン

作曲／前田 智子

邦楽合奏団「鼎」第30回記念定期演奏会のために、前田智子氏に委嘱し誕生した曲です。鼎というグループの結成から現在、そして未来へと続く活動を音楽で表現しています。タイトルは鼎に集った素晴らしい仲間という意味で綺麗KILAと名付けました。

## 7 和楽器オーケストラ邦楽合奏団「鼎」

大阪府

1978年12月に結成。創立34年を迎える関西では古参の合奏団です。年に二度の定期演奏会を始め学校公演などを中心に活動しています。古典の素養を背景に、ジャンルにとらわれない創造的な音楽を目指しています。

指揮	星田 一山			
箏 I	河野 紀子	今村 里美	樋田 恵子	川口 貴信
箏 II	佐々木公子	阪本佐智子	穂谷 有紗	
三 絃	岩下 昌代			
十七絃	宿里 節子	渡部志津子		
笛	前田 量子			
尺八 I	阿部 保明	麻植 武志		
尺八 II	徳重 智	高橋 創		





8 邦楽合奏団 紫陽花 大阪府

1987年に結成。高槻市を拠点として、月に一度、現代曲の大合奏を練習。現在、指揮：星田一山、絃：17人、尺八・笛：10人。2年毎に定期演奏会を開催し、昨年8月には第11回定演を開催しました。

疾風怒濤

作曲／川崎 絵都夫

例えば「ゴジラ」のテーマ曲。同じ音型やリズム、和音進行を執拗に繰り返すことで、グイグイと前へ進んで行く＝「オスティナート」の魅力です。邦楽器だって負けちゃいませんよ！（作曲者のことばより）

指揮	星田 一山			
箏 I	清水真知子	田中美津子	藤井 諒子	三坂 敦子
箏 II	飯田 理恵	玉澤 秀子	長谷川寿美子	宮田 久乃
	奥山喜美子			
三 絃	友森 明子	福隅香代子	松井由紀子	村松みどり
十七絃	石丸ふじ子	岡田 慶子	森本 清子	
尺八 I	河村 守	佐桑 光治	津田 国広	脇坂 英男
尺八 II	武林 正実	田中奈津子	土谷 利治	吉田 豊
笛	杉山由実子			
打楽器	小林 芳彦			

16日



9 岐阜県(安八町・御嵩町)尺八こども教室 実行委員会(岐阜県三曲連合会) 岐阜県

昭和62年県三曲連合会設立。22回ジュニア演奏会開催青少年へ普及を企む。平成17年文化庁支援の尺八子供教室開設。22年COP10名古屋の生物多様性交流フェアで「絶滅種への鎮魂・危機種回復への祈り」の演奏を行う。

虚鈴、童謡（お月様、ふるさと等）  
アメーzing・グレース、奥州流 鶴の巢籠

虚鈴は唐代に作曲鎌倉時代紀伊由良庄興国寺に法灯国師が伝う素朴で一番大切な曲。童謡や黒人霊歌にも尺八の魅力発揮。鶴の巢籠は明治三陸大津波で伝承の寺は被害、今大戦で絶えるが故竹内史光前会長が復活再生の幻の名曲。

尺八	日比野陽太	安藤 寛峻	岩田 冴良
	西田 萌乃	吉川 映司	日比野滉太
	森 未里	恵 健悟	青木 聡吾
	安藤 瑞彩	吉田 平蔵	中根 理記



photo by Makoto Kajita

10 東日本大震災復興支援コンサート「邦楽 Music Aid」委嘱「光咲む刻」を演奏する会 兵庫県他

昨年の「東日本大震災復興支援コンサート～邦楽 Music Aid」に出演したメンバーが中心となり、より多くの人に支援の輪を広げようと、Facebook やミクシィなどインターネットでの呼びかけで集まったメンバーです。

光咲む刻

作曲／高橋 久美子

昨年大阪で行われた「東日本大震災復興支援コンサート～邦楽 Music Aid」にて委嘱・初演された曲です。今回は作曲家高橋久美子さんの指揮で、より広い地域、より多くの人たちによる演奏で、被災地にエールを送りたいと思います。

指揮	高橋久美子			
箏 I	麻田 寛子	糀谷 有紗	河野 紀子	佐々木公子
	関 美保子	吉村 涼子	渡部志津子	
箏 II	喜多 恵子	津賀沼厚子	名村 茂代	樋田 恵子
	濱崎 裕子	福井 京子	森田 淑子	
三 絃	川口 貴信	前田 昌代	松山 京子	高橋 郁子
十七絃	喜多菜都美	谷垣 千鶴	宮田美智子	宿里 節子
尺八 I	清家 久司	野宮 英男	福地 一誠	森 佳久山
	脇坂 英山			
尺八 II	麻植 武志	立花 茂生	中村 浩也	平山 るみ
尺八 III	坂本 雅広	大沢真佐俊	高橋 哲也	武林 正実
	田中 隆文	福井伸二郎	三本 博明	
篠 笛	山田 章弘			





## 音と語りで綴る“鳴門秘帖” ～ダンス・コンセルタントⅡ～

作曲／三木 稔

1977年5月～1978年3月、NHKの連続TVドラマ「鳴門秘帖」の劇音楽として三木稔が作曲した中から選んで組曲風にまとめたものです。主な登場人物のイメージが特定和楽器にダブらせてあり、それぞれ独特の雰囲気醸しだしています。

11

## 和楽器集団 ぐるーぷ “樹”

広島県

和楽器を使った音楽を自由な立場で演奏したいと1972年に結成。広島における和楽器によるオーケストラのパイオニアとして活動。2度の海外公演、36回の定期演奏会など幅広く活動。この種の合奏団として40年の活動は最長レベル。

指揮	井坂 雅浩		
語り	坪川真理子		
箏Ⅰ	高橋 洋子	岡崎せい子	
箏Ⅱ	柳井 博美	松川 堯子	
十七絃	赤穴ひとみ		
三絃	内田 道子		
太 棹	梅田智恵美		
能管篠笛	石井 香		
尺八Ⅰ	重政 昂山	山本 観山	
尺八Ⅱ	中本 馨山	森岡 奏山	
打楽器	小田 桂子		



## 竹 桐 之 賦

作曲／川崎 絵都夫

2003年川崎絵都夫作曲。箏、17絃、三絃、尺八によるオリジナルバージョンです。どこか懐かしさを感じるメロディと、美しいハーモニーが特徴の曲です。

12

## 邦楽ラボ

岡山県

2009年に邦楽合奏の勉強会として発足。萩原(はぎはら)勇一(ゆういち)氏の指揮のもと、17名の団員が合奏に取り組んでいます。笑いの絶えない、明るく楽しいチームです。

指揮	萩原 勇一		
箏Ⅰ	三上 美弘	三上 美江	
箏Ⅱ	三上 美涼	木村 美仁	
箏Ⅲ	大西 美貴	新谷 美明	
三絃Ⅰ	三上 澄美		
三絃Ⅱ	高橋 美奏		
三絃Ⅲ	高田澄美久		
十七絃	杉本 美麗		
尺八Ⅰ	高橋 友山	問田 俊山	
尺八Ⅱ	岩田 稲山	中原 烽山	
尺八Ⅲ	佐藤 秧山		



## 四重華一番

作曲／藤井 凡大

「四重華」という曲名には四つの弦楽器群が譲り合い、競い合い、また時には一丸となって合奏の華を咲かせるという意味がこめられています。曲名通り、華のような活き活きとした演奏ができるようがんばります。

13

## 名城大学 箏曲部

愛知県

私たち名城大学箏曲部は30年以上の歴史を持ち、2009年4月に同好会から部に昇格しました。活動としては、大学祭での発表を主に、京都での演奏会に参加したり、ボランティア活動などを行っています。

箏Ⅰ	伊藤 茜	岩根 綾	笹原 詩織	田村 佳子
箏Ⅱ	五島 里奈	八橋有香里	涌井 裕梨	
三絃	赤澤 諒伍	榊原 奈美	徳田 真夕	
十七絃	荒井 友香	加藤真梨奈		





## 無意味な序曲・合奏曲六段

作曲／藤井 凡大

原曲は昭和43年12月にNHKの委嘱により作曲され、翌年3月NHK育成会14期生の卒業演奏で初演された。その後大編成に補作され昭和51年にNHK育成会22期生によって再演された。現代と古典の対比が面白い。

## 14 北海道三曲連盟

北海道

昭和48年に全道三曲コンクールの主催団体として創立。現在は13団体1430名を擁す。主催事業の柱として道内主要都市を巡って開催している演奏会のほか、45年の歴史を有する全道三曲コンクールを3年毎に開催している。

箏 高	宮崎 雅是歌 山口雅楽楓葉	大久保雅楽織美 中家 雅楽公美	鈴木 雅楽裕 石塚雅楽寿厚
箏 低	高橋雅楽美智 藤原雅楽寿穂	山崎 雅薫 宮崎雅楽悦美	石川 雅智都
三 絃	柴田 雅寿 本間 雅楽豊 虎尾 雅聖	富田 雅楽順 対島雅楽靨優 柴田 雅楽渚	石川 雅楽罔 高橋 雅楽儼
十七 絃	畑山雅楽智都	田中 雅楽幸悠	飯村雅楽悠絵
尺 八	中島 聖山 荒川 慎山	増井 黎山 井上 聖白	蓑谷 宗山 丸田 聖穂



## 春の宴

作曲／筑紫 歌都子

さくら さくら やよいのそらは みわたすかぎり かすみかくもか においぞいずる いざや いざや みにゆかん〜 日本人の心のふるさととも言える 桜の情景を豊かに表現した作品です。

## 15 筑紫琴凰会

山口県

筑紫琴凰会は、昭和48年8月結成され、会員相互の親睦及び、琴・三絃・尺八の技術の向上を図るとともに、小中学校での邦楽ワークショップや施設での演奏等、ボランティア活動にも意欲的に取り組んでいます。

尺 八	藤村 宏山 久津摩郁山 黒田 典山	高見 哉山 是国 柳山 中本 馨山	徳永 冠山 中村 博山	川津 荘山 生藤 象哲
箏 I	宮本歌穂湖 宮原歌緒美 渡 歌穂乃	弘中歌津輝 福多歌寿紀	清水歌寿沙 橋本歌粧美	今地歌湖利 石橋歌詩穂
箏II(高音)	宮本歌千穂 中川歌直穂	長野歌千香 有野歌穂弘	三上歌穂音 弘中 光咲	濱崎歌千樹 今地 紀瑛
箏II(低音)	兼重歌智穂 向井千恵美 土井歌紫穂 正重 貴子	小倉歌峯穂	豊田歌那香	弘中歌津哉
三 絃		石橋歌菜穂	長 歌津春	坂根歌智穂



## 北国雪賦

作曲／長沢 勝俊

東北地方に古くから伝わる雪の祭り「かまくら」と「ほんてん」に光を当て、雪とそれに深くかかわりながら生きる人々の哀歌を描いたものです。本日は、抜粋ですが、それぞれのメインテーマを織り込みお届けします。

## 16 遊楽音

神奈川県

音を遊び楽しむの意味のグループ「遊楽音(ゆらね)」は結成から早12年。生田流3名山田流1名からなるメンバーは、セミナー等を縁に偶然知り合いました。みな仕事もお箏も一生懸命!日々音楽を楽しんでいます。

箏 I	酒井 高子
箏 II	森 由幾子
三 絃	松本 愛子
十七 絃	関 美保子





## 飛鳥の夢

作曲／宮城 道雄

聖徳太子には理想があった。それは大和の万国の繁栄とゆう夢であった。この想を宮城道雄が作曲したのが「飛鳥の夢」であります。この曲は全曲に荘重にして大らかさと祝賀の気分を表しています。爽快な手事、優雅な前奏、後奏から成っています。

17

## 香川県三曲協会

香川県

香川県三曲協会は昭和50年に創設され香川邦楽界の中心的存在と活動を行っています。現在会員数は弦方・尺八併せて443名であります。「三曲だより」の発刊や小中高校生を中心に邦楽へのいざない・会員主催の演奏会の後援を行っています。

箏 I 伊賀 定子 小松 紀子 藤澤 陽子  
 箏 II 黒川さとみ 村上 好子 寺嶋 幸子 佐立 敏子  
 十七絃 津郷佐智子  
 尺八 山本 晶山 寺石 路山 東原 操山 上原路州山  
 尾崎 輝山



## 全奏協讃歌

作曲／MARIO アンサンブル

全奏協の設立を祝って編曲しました。邦楽界の架け橋となり、次世代へ受け継いでいくことを願います。瀬戸内海の美しい風景。そして徳島県産のすだちと子供たちの巣立ちを重ね世界は一つ、平和の祈りなどを表現しています。

18

## MARIOアンサンブル

東京都

設立して3年半になります。和洋楽器の合奏で音楽を楽しんでいます。「情熱の邦楽コンサート」「情熱のバンドライブ」福祉施設やイベント、ストリートで、親しみやすい音楽を演奏し和楽器の魅力を伝える活動をしています。

箏 川竹 利恵 若林 宏誌  
 十七絃 小林能理子  
 尺八 義 之 平野 将義  
 ギター 景山 弓張  
 民謡三味線 石井 梨沙  
 津軽三味線 中田 誠



## Vibrant Peach ～桃の気持ち～

第I章 愁いの桃 第II章 怒りの桃 第III章 躍動の桃

作曲／川崎 絵都夫

第I章愁いの桃・第II章怒りの桃・第III章躍動の桃。各章の副題通りの曲想。その中に更に様々な表現が現われる。音楽スタイルは、あくまでも箏を想定。そこに現代感覚を発想して作曲。カッコ良く現代の躍動する桃を堪能下さい。

19

## 松村紫乃&グループ箏

高知県

35年前に発足。海外公演は米中印などで数回。秋の県芸術祭に毎年連続して出演。委嘱曲を中心に多様な演奏曲目を披瀝。また毎回、専門演奏家を招き、団体の技量向上と地域文化の邦楽への理解鑑賞の深化に務める。

21 絃琴 松村エリナ  
 箏 I 金平真奈美 沢山美佳子  
 箏 II 野村 夢子 馬瀬あずさ  
 箏 III 坂井喜美子 鬼塚 陽子  
 十七絃 沼野 大恒 劉 理恵  
 打楽器 西川 啓光





## 尺八協奏曲 風雅 (ふうが)

作曲 / 石井 由希子

風雅 (ふうが) とは「実利を離れて、詩文・芸能の道に心を遊ばせること。」俗世間の煩わしさから解放されて、自分の好きな道へ埋没し、心から音楽を楽しむことが出来ればという願いをこめて作られました。

20

## ドルチェ邦楽合奏団

東京都

平成9年坂田誠山氏を指揮者として、千葉邦楽合奏団が結成され、その後東京、神奈川に各合奏団を結成し、この3グループでドルチェ邦楽合奏団グループと称しています。「邦楽って楽しいの?」「もちろん!」がモットーです。

指揮・尺八独奏 坂田 誠山

箏 I	五月女 雅	山口喜久子	奥田恵美子
箏 II	梅田佳予子	内野 典子	岡部 節子
十七絃	岡田喜代子	中村 幸子	神山さよ子
尺八 I	森 佳久山	渋谷賀洋山	星 泰山
	安田疎詠山		
尺八 II	千島舟静山	大川礼峰山	中沢 兼山
	渡辺 誠澄		



## 和風楽

作曲 / 宮城 道雄

大正15年に都山流創始30周年の祝賀曲として宮城道雄が作曲し、中尾都山師に贈られた曲です。今回は尺八を胡弓に移し、胡弓3部の合奏とし、近年演奏されることの少なくなった玲琴を加えて演奏致します。

21

## 胡弓の会「韻」

東京都

中井猛宅で行われていた胡弓合奏会を母体として平成6年発足。旗揚げ公演、大阪・北海道・三重・東京公演を開催。また、各県の国民文化祭に出演。胡弓を用いた古典や宮城道雄作品を演奏し、好評を博しております。

胡弓 I	市川佐代子 菊詩 直己 辻谷武喜代 松村 紫乃 吉村 恭子	相宅 敦恵 鹿野まゆみ 坪井清美(笙) 村澤かをり(笙)	岡本 清子 清水 照美 藤本美智子 山形眞珠代	岡本 文子 竹迫ミナミ 松村エリナ 山田 櫻
胡弓 II	浅川 尚子	堤 隆子		
胡弓 III	西川かをり	細見 由枝		
玲琴	藤田 節子	上野 里美	木下 良子	小西 規子
箏高音	長谷川秀子 斎藤武幾久 増子 竜次	島山眞知子	村澤 丈児	横川喜美子
箏低音	中井 猛			
十七絃				
笙				



## 冬の一日 II

作曲 / 長澤 勝俊

長澤先生の1970年の作品。序曲・氷すべり・雪の夜・風と凧・終曲の5楽章。各楽章とも解りやすい曲です。特に序曲はトナカイの雪ぞりを連想し、思わずメルヘンに誘われるような可愛らしい曲想となっています。

22

## 「織座」&「まどか」

千葉県

織座&まどかは共に東京で活動している邦楽合奏団です。普段よりお互いの演奏会を手伝うなどの交流を深めてきました。今回は、この二つの合奏団の有志により、参加することができメンバー一同楽しみにしています。

指揮	稲田 康		
箏 I	津賀沼厚子	吉村 涼子	石井 恭子
箏 II	外川麻貴子	関 美保子	
十七絃	宮田美智子		
尺八	三本 博明		
笛 I	山田 章弘		
三味線	前田 昌代		
琵琶	立花 茂生		
打楽器	橋爪 宏明		



## やまなし邦楽合奏団「響鳴」



結成6年目。団員22名。年一回の定演開催や、県内文化祭への参加。山梨県を中心に流派を超えて集い邦楽器の合奏を楽しんでいます。指揮・指導は、石川憲弘先生。来年の山梨県国文祭では、こどもの日に、合唱、バレエの子どもたちとのコラボレーションをお届けします。

指揮 石川 憲弘  
 箏 I 中村まゆみ  
 箏 II 寺本 重加 田村 博子  
 箏 III 上田 真帆  
 三 絃 渡邊 清恵  
 十七 絃 尾崎 藍  
 尺 八 I 今野 治  
 尺 八 II 小栗 弘子  
 打 楽 器 脇坂 英寿

## 夕焼け色のポエム

作曲／神坂 真理子

2006年神坂(かみさか)真理子(まりこ)作曲。茜(あかね)色(いろ)に染まった夕焼け空を眺めていると、心(こゝろ)に過ぎし日の記憶(きおく)が呼び起こ(よびおこ)されて、胸(むね)がいっぱいになることがあります。美しい夕焼け空を思いながら団員一同演奏(えんそう)させていただきます。

徳島が世界に誇る作曲家、故 三木稔氏作曲の「巨火」三楽章「魂振り」を全国の邦楽愛好合奏団の皆さんと演奏します。

Finale  
合同合奏曲

## 24 ほ て たまひ 巨火 第3章《魂振り》

作曲／三木 稔

邦楽器の全てを含む最大、そして最も聴衆にも支持の多い合奏作品となり、第一部《魂鎮め(または祈り)》、第二部《道行(または遊び)》を経て、野外の祭りをイメージしたダイナミックな第3部《魂振り(または祭り)》になだれ込む30分の大作である。

魂振りとは、魂鎮めと反対に、人の精神を鼓舞する原始社会以来の民俗的宗教行事で、鉦・太鼓を打ち鳴らし、興奮状態を持続させるところに大きな意味がある。この曲では、秩父屋台囃子のリズムを援用した打楽器群の果てしない連打の上に、各楽器それぞれに与えられた何種類かの長い楽節を、上演の度に組み合わせを変えて演奏。



邦楽打楽器奏者／西川 啓光

国内外で演奏活動他、多数のレコーディング・CM・テレビ・コンサート等で活躍。主に現代邦楽分野で活動、意外なものではCM「お正月を写そう」・「天城越え」の鼓などでおなじみ。オーケストラアジア・ジャパン所属、「鼓友会」主宰。



箏演奏家／松村 エリナ

国内外での演奏他、CM・舞台音楽の録音やTVラジオ出演多数。リサイタル他、あらゆるジャンルの芸術とのコラボレーションも展開中。沢井忠夫合奏団、オーケストラ・アジアジャパン、邦楽創造集団「オーラ」所属。

指揮	高橋 明邦(東京)						
二十 絃	松村エリナ(東京)	白浜 妙子(徳島)	玉西 和代(徳島)				
箏 I	有月 唯依(徳島)	大西 美貴(岡山)	木村 美仁(岡山)	酒井 高子(東京)	杉本 美雛(岡山)		
	関美保子(神奈川)	高橋 郁子(高知)	中村真紀子(徳島)	中村まゆみ(山梨)	三上 美江(岡山)		
	森 由幾子(東京)	安波 素子(大分)	山名 里香(大分)				
箏 II	佐々木律子(大分)	岡部 節子(千葉)	新谷 美明(岡山)	樫田 恵子(兵庫)	馬場真理子(熊本)		
	三上 美涼(岡山)	三上 美弘(岡山)	安村 幸子(徳島)	山本ひとみ(愛知)	山本真佐子(徳島)		
十七 絃	尾崎 藍(茨城)	多田 夕紀(徳島)	野々村彩子(徳島)	渡部志津子(大阪)			
三 絃	内田 道子(徳島)	萩野あすか(徳島)					
尺 八 I	岩田 稲山(岡山)	小栗 弘子(東京)	坂本雅広(和歌山)	田中 隆文(大阪)	問田 峻山(岡山)		
	中村 信康(徳島)	西尾 久康(徳島)	山本 観山(広島)				
尺 八 II	佐藤 秧山(岡山)	重政 昂山(広島)	高橋 政市(徳島)	中原 烽山(岡山)	英 崇夫(徳島)		
	福井伸二郎(大阪)	森 佳久山(東京)	森岡 奏山(広島)				
尺 八 III	市原 均(徳島)	麻植 武志(大阪)	貝出 宏文(徳島)	喜島由香菜(徳島)	今野 治(埼玉)		
	高橋 哲也(高知)						
篠 笛	庄野 龍夫(徳島)	山田 章弘(千葉)					
琵琶 I	立花 茂生(千葉)	成川 美佐(徳島)	橋本 石基(岡山)				
琵琶 II	坂上 聖子(大阪)						
打 楽 器	西川 啓光(東京)	久米見奈子(徳島)	高野 等(徳島)				

\*五十音順



● 第27回国民文化祭阿南市実行委員会

会長 阿南市長 岩浅 嘉仁  
 委員長 特定非営利活動法人「全国邦楽合奏協会理事長」 藤本 玲  
 副委員長 徳島県三曲協会副会長 大西 晴一二・四国大学邦楽部講師 山上 明山  
 委員 西野 筈保・白浜 妙子・西 敏晴・河井 敏之・佐藤 賢治・篠原 真  
 監事 佐藤 憲治  
 事務局 天羽 正明

支援団体 阿南市文化協会  
 協力団体 阿南市阿波踊り振興連盟 達粋連・山口座木偶保存会三番叟（山口町）・阿南商工会議所・村松屋・  
 原田和楽器店・阿南ロイヤルガーデンホテル

舞台監督 齋藤 孝則（株式会社 モウブ）  
 音響 中田 茂宏（株式会社 モウブ）  
 照明 多田 英治（有限会社グループ）

● 箏マエストロによる青少年のための「ワークショップ」と響演「変絃自在」、和楽器体験、楽器製作実演、遊びながら邦楽を知る、「宇宙箏」展示、スタンプラリー

制作 邦楽ジャーナル  
 美術 矢島 一二（㈱アルチザン）  
 協力 中嶋和楽器店、日本琵琶楽協会、㈱武蔵野楽器

ボランティアスタッフ

大 櫛 亜 童	森 明 恵	吉 岡 里 道	細 川 初 子	林 紀 子	高 野 等
山 上 明 山	吉 成 蒼 山	和 田 英 作	宮 上 和 美	平 岡 雅 樂 織	多 田 夕 紀
伊 丹 千 山	渡 辺 藍 山	仁 木 古 都 風	宮 内 夏 澄	廣 瀬 雅 伎 京	玉 西 和 代
市 原 紳 山	松 田 太 山	多 喜 田 聖 風	内 田 道 子	福 永 雅 豊	中 村 真 紀 子
市 原 峻 山	大 西 晴 一 二	渡 川 恵 都 風	天 羽 悦 子	丸 與 直 子	萩 野 あ す か
岩 佐 明 想	阿 部 藤 風 悠	広 木 都 乃 風	井 戸 愛 美 子	森 都 伎 充	安 村 幸 子
薄 井 保 俊	上 村 晴 悠	万 石 都 節 風	岩 野 秀 子	安 井 美 千 江	
大 久 保 宴 山	近 藤 晴 芳	宮 武 古 都 浩	加 藤 知 美 子	山 本 豊 子	
岡 川 明 功	竹 内 倫 風	安 田 古 都 子	佐 藤 富 子 紀	山 本 雅 樂 秀 愛	
貝 出 光 山	富 田 如 風	湯 浅 孝 子	澤 村 美 紀 子	吉 崎 礼 子	
片 山 慶 山	中 山 康 夫	湯 浅 真 知 子	佃 菜 々 子	内 藤 比 露 枝	
岸 越 明 純	蓮 池 澄 風	吉 岡 都 風 照	宮 岡 量 子	切 東 朱 美	
計 盛 卓 山	真 澤 輝 吉	吉 崎 夕 華	山 本 欣 志 子	遠 藤 綾 子	
佐 々 木 明 人	松 尾 江 風	猪 井 恵 朱	藤 本 雅 登 伎	遠 藤 咲 季 子	
地 紙 湫 山	宮 武 晴 耕	白 田 智 朱	白 浜 雅 伎	小 倉 祐 一 朗	
杉 口 珖 山	吉 田 晴 哲	高 田 邦 子 恵	阿 部 敏 江	久 保 南 美	
高 橋 侶 山	平 松 宗 童	多 田 幸 恵 子	伊 藤 篤 子	久 米 真 衣 奈	
谷 口 淵 山	森 藍 童	月 岡 恵 子 紀	糸 林 都 美 鈴	森 河 美 樹 子	
田 渕 渦 山	西 野 筈 保	月 岡 美 紀 月	大 久 保 幸 江	山 田 麻 悠 子	
田 村 珖 盟	赤 星 星 道	長 坂 奈 月 香	笠 井 都 早 伎	室 志 津 代 子	
中 尾 明 達	乾 友 道	長 坂 美 香 美	清 蔭 都 志 子	桑 原 登 志 子	
中 村 信 山	岩 野 泰 道	菊 華 茂 美 子	四 宮 恵 子	菊 香 華 堯 子	
西 尾 泰 山	岡 田 英 規 子	菊 弘 敏 子 保	泰 地 光 子	中 村 明 美 穂	
英 宗 雨 山	坂 野 洋 子 保	島 本 菊 保	高 見 公 子	佐 藤 瑞 妙 子	
藤 井 介 山	清 水 露 道	小 間 坂 ひとみ	玉 真 宜 子	中 野 優 子	
藤 本 昶 山	白 田 克 道	齋 藤 孝 子	豊 野 彩 音	大 木 優 子	
細 川 明 修	立 花 正 規	福 田 貴 三 子	中 村 いく 代	木 下 潤 子	
三 宅 雅 舟 山	佃 伸 道	井 内 久 美 子	中 村 磨 璃 有	和 田 智 子	
三 好 栄 山	中 田 笏 保	山 上 朋 代	成 川 雅 富 美	川 西 春 江	
村 上 聖 山	畑 笙 保	粟 飯 原 祐 子	仁 木 都 輝 保	有 月 由 依	
森 保 山	船 井 健 三 子	井 上 都 代	野 々 村 雅 樂 彩	石 井 恭 子	
森 由 后	本 田 勢 二	武 田 薫	濱 崎 都 桜 伎	佐 藤 法 子	

たくさんのボランティアの皆様方にご協力頂きありがとうございました。

※順不同



9/14 金

※「会場 MAP」 P1.2 をご覧ください。

**A** PA(音響)を使用する邦楽ワークショップと癒し音楽

**屋外** 立体ハート型花火打ち上げ

9/15 土

**Q** PA(音響)を使用する邦楽ワークショップと癒し音楽 交流・質問会

**E** ミニ講演「邦楽と宇宙」

**F** 「未来邦楽へ」パネルディスカッション

**G** 「指揮！実験室」ワークショップ

**H** 「尺八ソロワンポイントアドバイス」ワークショップ

**J** 三番叟

**B** 箏マエストロによる青少年のための「ワークショップ」と響演「変絃自在」

【展示・体験・その他】

**I** 物産展ブース

**O** お茶のおもてなし

**R** 和楽器体験

**K** 楽器製作実演

**L** 故 三木稔氏の軌跡

**M** 遊びながら邦楽を知る

**N** 「宇宙箏」展示

9/16 日

**C** 達粹連による阿波踊り公演

**D** 全国邦楽合奏フェスティバル 全国邦楽合奏協会誕生公演

【展示・体験・その他】

**I** 物産展ブース

**O** お茶のおもてなし

**R** 和楽器体験

**K** 楽器製作実演

**L** 故 三木稔氏の軌跡

**M** 遊びながら邦楽を知る

**N** 「宇宙箏」展示

DISCOVER  
AWA-STYLE  
**あ！わ** 発見伝  
第27回国民文化祭・とくしま2012  
The 27th National Cultural Festival Tokushima  
文化庁国民文化祭事業

第27回国民文化祭阿南市実行委員会事務局

〒774-0030 徳島県阿南市富岡町西池田135番地1 (阿南市市民部文化振興課内)  
TEL. 0884-22-1798 FAX. 0884-21-0909 E-mail kyoubun@city.anan.tokushima.jp

主催／文化庁・第27回国民文化祭阿南市実行委員会 共催／徳島県・阿南市・徳島県三曲協会・特定非営利活動法人 全国邦楽合奏協会・阿南市文化会館  
後援／公益財団法人 徳島県日本伝統文化振興財団・徳島新聞社・四国放送